

文化の継承 祭神の製作



稲生小学校の校歌の最初に出てくる「下田川」にカッパ伝説があり、地区の中央部にある河泊神社で明治の初期より、夏祭り（旧暦6月12日）が行われています。子ども相撲が奉納されるなど地区にとって、最大の祭りではありますが、少子高齢化の影響もあり、規模がだんだん小さくなっていました。そこで、学校支援地域本部事業に参画していただいている皆さんを中心に、カッパのフィギアを活性化のシンボルとして創ることになり、フィギアメーカーの海洋堂さんに依頼して製作。21年のお祭りでお披露目いたしました。原画は保護者の方が書き、また、右頬には一滴の涙が流れているという、特徴あるカッパが出来上がりました。小学校でも、カッパの勉強もし、地域文化の継承につなげました。

